

いきもののオト、きこえますか？

ピアノと語りでつづる音楽紙芝居 (特別編)

ゼツメツキグシュノオト

絵と文：音の台所 ⑧ 作曲：春畑セロリ

ニホンリス

絵と文と語り ● 音の台所 (茂木淳子)

ピアノ ● 川津直子

画像操作：山崎絢子

「ゼツメツキグシュノオト」は

絵と詩と音楽のコラボレーションです

絶滅が心配されるの生きものたちの

声に ことばに

耳をかたむけてみませんか



とき

2018年11月10日(土)

【1回目】

11:30開演 (11:15開場)
(12:00終演予定)

【2回目】

12:30開演 (12:15開場)
(13:00終演予定)

ところ

杉並公会堂 小ホール
(定員190名)

入場無料！

(0歳児より入場可・出入り自由)

★ 先着順に入場 (全自由席)

ラッコ

Moderato amabile



お問合せ

音の台所 ☎090・5320・1569 (茂木)

e-mail: info@oto-kitchen.com

ホームページ <http://oto-kitchen.com/>

《荻窪音楽祭についてのお問合せ》

事務局 ☎03・5347・0244

公式サイト www.ongakusai.com

主催：「クラシック音楽を楽しむ街・荻窪」の会

共催：杉並区 / 南相馬市教育委員会 / 杉並公会堂 (株式会社 京王設備サービス) / 公益財団法人 日本フィルハーモニー交響楽団

後援：杉並区教育委員会 / 南相馬市 / 公益社団法人 荻窪法人会 / 東京商工会議所 杉並支部

協力：中央線あるあるPROJECT実行委員会



今年の音楽紙芝居は特別編！ 絵と詩と音楽のコラボレーション



「ゼツメツキグシュノオト」

音楽紙芝居を作り、初めてお客さまの前で上演したのは、2012年11月の荻窪音楽祭でした。その後、毎年出演を重ね、今年で7回目となります。

今年の音楽紙芝居は、絶滅が心配される生きものたちのお話「ゼツメツキグシュノオト」です。荻窪音楽祭特別バージョンでおおくりします。

言葉と絵と音楽が響き合う空間を、どうぞお楽しみください。

音の台所・茂木淳子



絵本「ゼツメツキグシュノオト」(らんか社)より



音楽紙芝居「月夜のナイチンゲール」第25回 荻窪音楽祭(2012)

荻窪音楽祭での音楽紙芝居上演記録

- 第25回 荻窪音楽祭(2012)「月夜のナイチンゲール」
- 第26回 荻窪音楽祭(2013)「幸福な王子」
- 第27回 荻窪音楽祭(2014)「金の魚」
- 第28回 荻窪音楽祭(2015)「お菓子の家」
- 第29回 荻窪音楽祭(2016)「オツベルと象」
- 第30回 荻窪音楽祭(2017)「すてきなとりかえっこ」

《構成・イラスト・語り》 音の台所(茂木淳子)

コンサートやエデュケーション・プログラムの企画制作をするかたわら、「音の台所」のペンネームでイラストを描いている。音楽雑誌「ムジカノヴァ」(音楽之友社)に「ブルクミューラー鳥ノオト」(イラスト・文)を連載したのがきっかけで2012年より音楽紙芝居をつくりはじめる。荻窪音楽祭をはじめ、〈ブルクミューラー・フェスティバル〉や〈Summer Kids Days Nagano〉(長野市芸術館)などに、音楽紙芝居を中心としたプログラムで参加。また、「大人のための音楽紙芝居」も、ときどき行っている。

2013年より那覇在住、リトグラフ(版画)を制作している。

音楽之友社のweb連載「ゼツメツキグシュノオト」(作曲:春畑セロリ/絵と文:音の台所)の楽譜・CD・絵本が今春出版された。

ゼツメツキグシュノオト特設ホームページ

https://www.ongakunotomo.co.jp/web_content/zetumetukigushu/

《ピアノ》 川津直子

4歳よりピアノを始める。桐朋女子高等学校音楽科を経て、桐朋学園大学音楽学部ピアノ科を卒業、第10回飯塚新人音楽コンクール入賞。第1回日本アンサンブルコンクール優秀演奏者賞受賞。荻窪音楽祭第7回春の交流コンサートに出演。石井千穂、佐野翠、松岡貞子、池本純子、土屋美寧子、和波孝禧の各氏に師事。ソロおよび室内楽を中心に演奏活動を行なっている。音楽紙芝居「月夜のナイチンゲール」以来、ピアノを担当している。

第31回 荻窪音楽祭 2018年11月8日(木)～11日(日)



www.ongakusai.com

